

20 年度 2 学期終業式のお話

9 月 1 日に始まった 76 日の長い 2 学期が終わりました。今日まで特に大きな事故もなくみなさんと先生方が、元気に無事に過ごせたことを本当に嬉しく思います。

さて、今日は皆さんにこの話しをすることにします。(携帯のイラストを見せる)
先週、このような緑色のプリントが皆さんのお家の人に配られました。これは、「妙高市の全部の小学生、中学生に原則として携帯電話を持たさない」ことに決めたことを知らせるプリントです。

なぜ、小学生や中学生に携帯電話を持たさないことにしたのでしょうか。わたしは理由は 5 つあると思います。

1 つ目は、メールをすぐ返さないと仲間はずれにするとか、あの子を無視するというメールを 10 人に送らないといじめるぞとかいうメールいじめになってしまうことがあったり、自分はメールをしなくても知らない人から怖いメールがくることがあるからです。

2 つ目は、インターネットに使い、その中でいきなり 5 万円振り込めとかいわれたり、面白そうなモバゲーというところに名前や住所を書いてしまって危険なわなにはまるなど子どもたちが危険になるからです。

3 つ目は、ケータイというのは複雑な機械なのでお父さんやお母さんも、子どもに安全に使わせるためのフィルタリングやアクセス制限などがよく分からず、ちゃんと管理して使わせることができないことが多いからです。

4 つ目は、皆さんに今大事なことは、メールやネットでなく友達や周りの大人の人と顔を合わせたり、触れ合ったり、共に活動したりして生身のコミュニケーションを深めていく力をつけてほしいからです。

5 つ目は、ケータイでのトラブルを解決するにはたくさんの時間と先生方の苦労があることやケータイでいじめられた人の苦しみはとっても深いからです。ケータイは電波をつかいますが電波は見えません。見えないものを追いかけることは非常に難しいのです。また、普通の喧嘩なら「ごめんね」といえば仲直りできることも、誰から送られたかわからない意地悪メールを送られた人やお尻をカメラで取られてそれをみんなにメールでばら撒かれた人はずっと苦しむことになります。

こんな理由から妙高市では小中学生にケータイを持たさないことにしたのです。

ずっと持たさないわけではありません。子ども用に作られた安心できる携帯電話ができるまでです。また、学校から帰るときどうしても安全ではないとおうちの人が判断して、校長先生に届けた人は別です。

妙高市の皆さんは、携帯電話を買ってもらわないことにしましょう。今もっている人も、本当に必要かどうか考えなるべくもつことをやめましょう。私は皆さんが携帯のことで困ってほしくありません。ケータイの話はこれで終わります。

さあ、明日から冬休みです。クリスマスやお正月やいろいろな楽しいことがいっぱいあると思います。家族の一員としておうちの人のお手伝いをいっぱいしてください。そして、けがをしないように風邪をひいたり病気になったりしないように気をつけてください。3学期の始業式には元気な姿で会えることを期待しています。

平成20年12月22日 終業式 井澤 和秀

